

# 「学校の安全」対策委員会 活動報告

報告者:「学校の安全」対策委員会 委員長  
鹿児島大学教育学部 教授 飯干 明

## 1 設定の理由

〈現状1〉

小中学生の  
事故は、約半  
数が学校で  
発生

〈現状2〉

病院で治療を  
受けた件数  
小学生：約17人に1件  
中学生：約12人に1件



目的

校内等での児童・生徒のけがの減少

なぜ、けがが起こるのか？(原因)

なぜ

遊びに夢中になり  
ルールを守っ  
ていない。

周りをよく見ず  
に、急に飛び  
出してくる。

できそうにない  
ことをしようと  
している。

朝からぼうつと  
して、運動に  
集中していない。

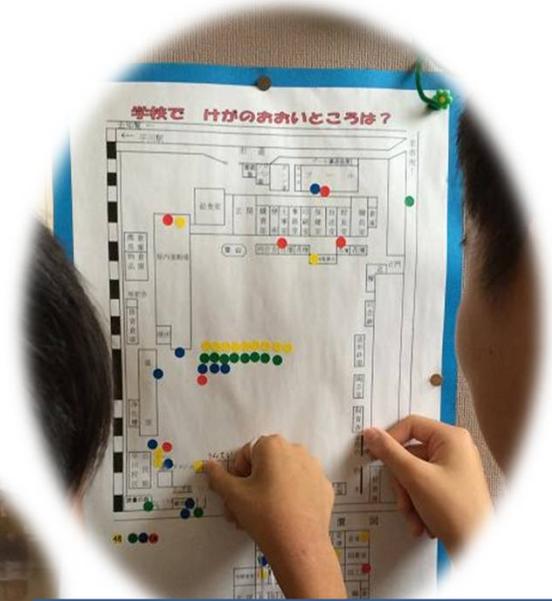
準備運動や整  
理運動をしっか  
りしていない。

「意識」と「行動」を向上させ、その差を減少させる。

## 2 5つの対策内容



「ポスターの掲示」



「危険箇所マップづくり」



「『危険』などの表示」



「校内パトロール」



「集会活動での呼びかけ」

### 3 校内等でのけがの減少を目指したPDCAサイクル

#### (1) Plan

- 「学校の安全」対策委員会の報告を受けた課題の把握
- 学校の実態に合わせた取組内容の決定



#### (2) Do

- 各学校での取組内容の実施
- 取組状況調査による各学校の実施状況の把握
- 「学校の安全」対策委員会の開催及び報告

### 3 校内等でのけがの減少を目指したPDCAサイクル

#### 取組状況調査

○ 認知度  
「校内パトロール」を通して、安全な行動の仕方が理解できたか。

○ 実践度  
「校内パトロール」を通して、安全な行動の仕方を理解し、実際に行動できたか。

学校名	学校	年(男・女)
-----	----	--------

**「校内のけがを減らすためにどう考え、行動したかの調査」【校内パトロール】**

「校内パトロール」に取り組む前と取り組んだ後(平成28年11月まで)では、校内のけがを減らすための考え方や行動が変わりましたか。1、2はア～エから最も当てはまるものを一つ選び、枠の中に○を付けましょう。3は枠の中に書きましょう。

**1 【校内のけがを減らすためにどう考えたかの調査】**

「校内パトロール」に取り組んだことで、校内でけがをしなかったために、ろう下は右側を歩くこと、ろう下は走らないことなど、安全な行動の仕方が分かりましたか。

取組前より	ア とてもよく分かった	イ 分かった	ウ 変わらない	エ 全く分からなかった
□				

ア→2に進む    イ→2に進む    ウ→調査終了    エ→調査終了

**2 【校内のけがを減らすために分かったことを行動したかの調査】**

「校内パトロール」に取り組んだことで、校内でけがをしなかったために、ろう下は右側を歩くこと、ろう下は走らないなど、安全な行動の仕方が分かり、実際にそのように行動しましたか。

取組前より	ア 分かったことがとて もよく行動できた	イ 行動できた	ウ 変わらない	エ 全く行動できなかった
□				

ア→3に進む    イ→3に進む    ウ→調査終了    エ→調査終了

**3 校内で安全に気を付けて行動するようになったことは、どんなことですか。**  
書ける人は、いつ、どこで、どんなことをしたか、くわしく書きましょう。  
(例) 昼休み時間に、階段をゆっくり歩くようになった。

### 3 校内等でのけがの減少を目指したPDCAサイクル

## 第1回「学校の安全」対策委員会の開催及び報告

取組状況調査の結果と考察

今後の取組について

安全・安全な生活を全ての学校に 鹿児島市教育委員会保健体育課

鹿児島市は、平成28年1月、世界基準の安全安心都市として「セーフコミュニティ」の国際認証を取得しました。

本市の学校も、校内等でのけがの減少を目指した「学校の安全」対策部会を設置して取組を進め、その成果を平川小学校が披露し、国際認証の取得に大きく寄与しました。

今年度は、5年後の再認証取得に向けて、これまでの成果と課題を明らかにしつつ、更なる取組を進めていきます。

平成28年7月5日開催  
鹿児島市セーフコミュニティ（認証後）第1回「学校の安全」対策委員会【報告】

1 全学校への調査から明らかになった課題

項目	2015年7月 (%)	2016年2月 (%)
校内パトロール	90	80
危険箇所マップづくり	80	60
ポスターの掲示	80	70
「危険」などの表示	80	60
兼業活動での呼びかけ	80	70

中学校の「よくできた」「できた」と回答した割合です。前回調査よりも低下しています。小学校も同様の傾向です。取組のマナー化による子供たちの意識の低下が懸念されます。

項目	2015年7月 (%)	2016年2月 (%)
校内パトロール	10	10
危険箇所マップづくり	10	10
ポスターの掲示	10	10
「危険」などの表示	10	10
兼業活動での呼びかけ	10	10

中学校の「認知度」と「実践度」の差です。「危険箇所マップづくり」では、「よく分からないけれど、とりあえず作った」という実態が懸念されます。中学生の発想や気づきを生かした創意工夫あるマップづくりが求められます。

2 本年度の取組について

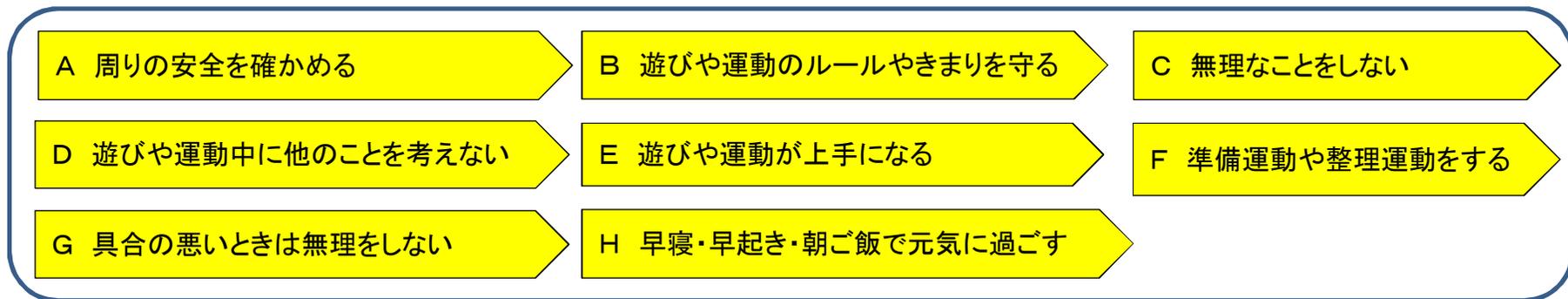
**保健体育課**  
これまで年2回実施していた「意識行動調査」「取組状況調査」「部活動でけがをしないための認知度・実践度調査」を、年1回に精選し、5年間の変容を検証していきます。

**各学校**  
5つの取組事項(上記グラフの項目)について、それぞれの取組が自分、他者、そして学校の安全にどのよう役立つか、意味を確実に理解させた上で、子供の主体的な取組を推進してください。

**各中学校**  
部活動におけるけがを防止するため、「キャプテン会議」において、「場の安全確認」「準備運動の工夫」「練習中の体調管理」など、各部が共通して実践する内容を協議してください。

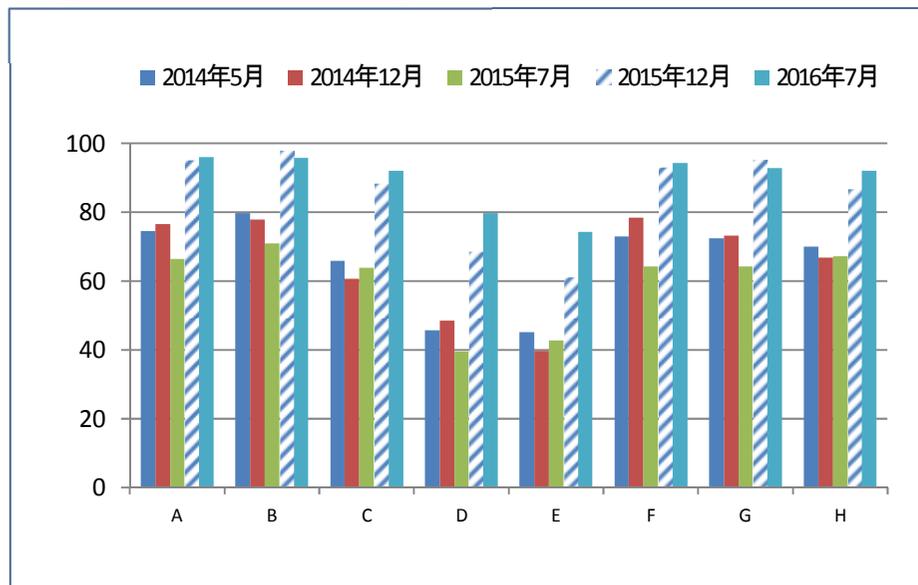


### 3 校内等でのけがの減少を目指したPDCAサイクル

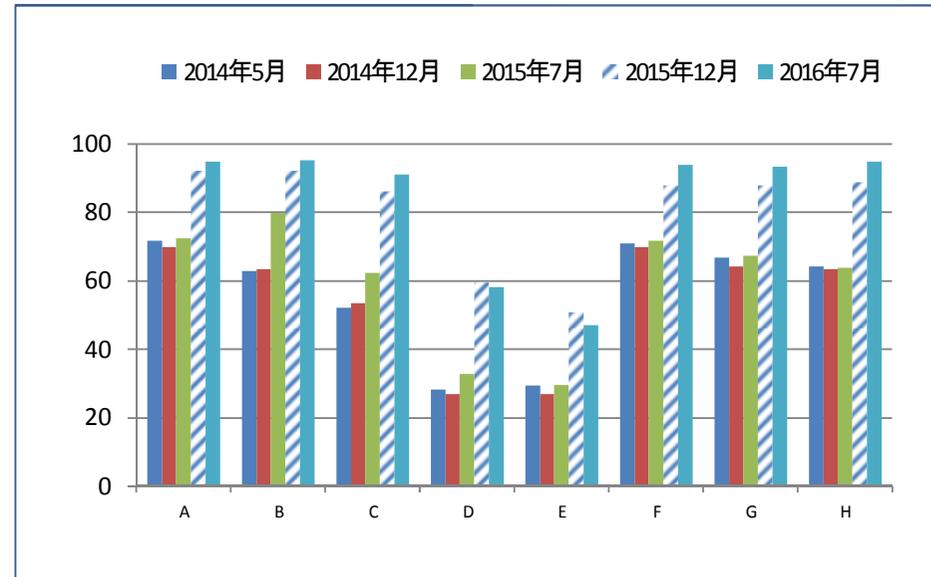


#### 【意識の調査結果】

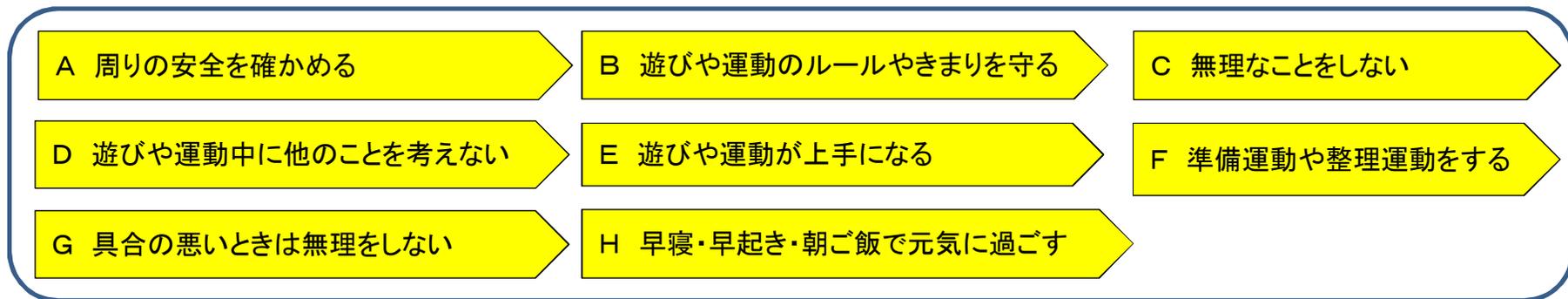
##### 小学校



##### 中学校

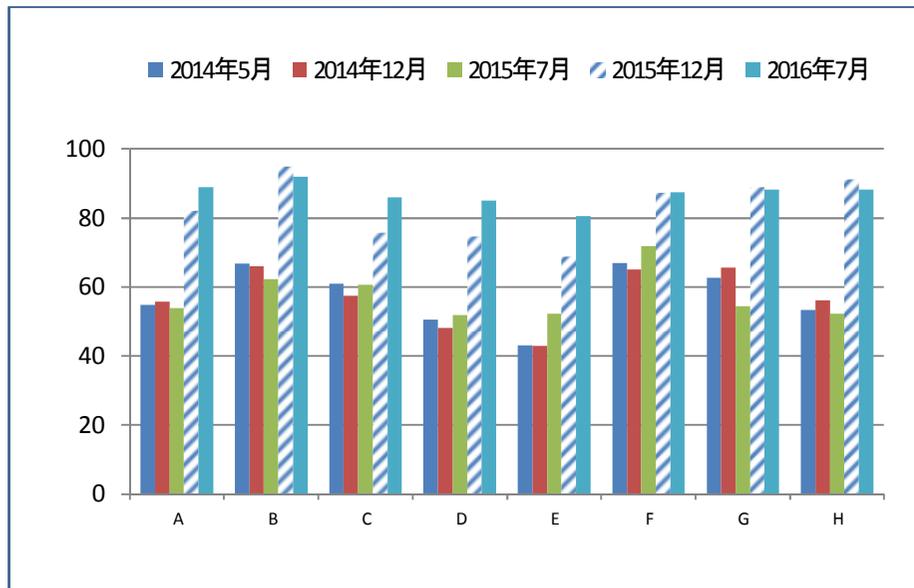


### 3 校内等でのけがの減少を目指したPDCAサイクル

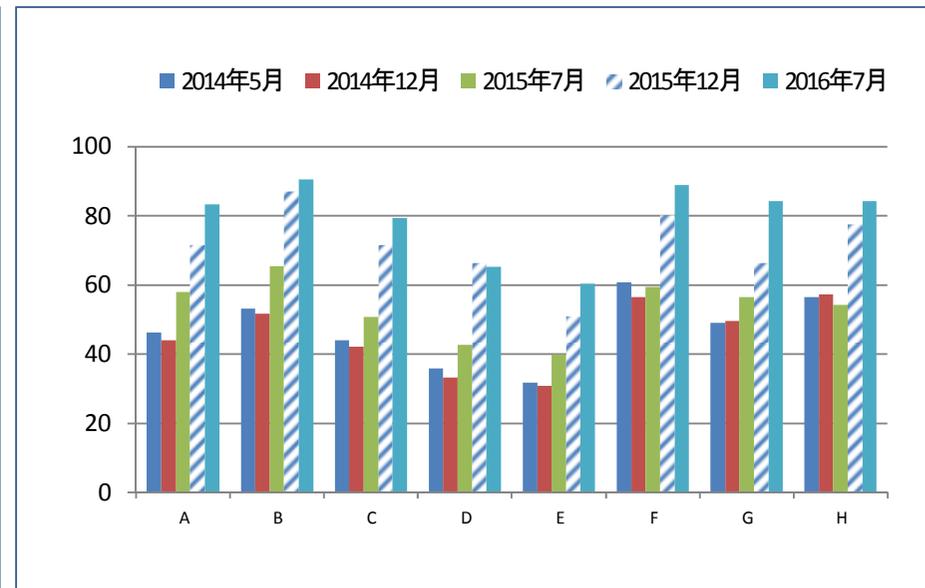


#### 【行動の調査結果】

##### 小学校



##### 中学校



### 3 校内等でのけがの減少を目指したPDCAサイクル

#### (4) Action 第2回「学校の安全」対策委員会の開催及び報告

意識・行動調査の結果と考察

今後の取組について

安心・安全な生活を全ての学校に 鹿児島市教育委員会保健体育課

平成28年12月1日開催  
鹿児島市セーフコミュニティ(認証後)第2回「学校の安全」対策委員会【報告】

「学校の安全」対策委員会では、次の8つの観点から、安全に行動できる子供を育成し、学校内でのけがの減少を目指しています。

各学校の取組により、子供の意識や行動は、確実に向上しています。

A 周りの安全を確かめる	B 遊びや運動のルールやまわりを守る
C 無理なことをしない	D 遊びや運動中に他のことを考えない
E 遊びや運動が上手になる	F 準備運動や整理運動をする
G 具合の悪いときは無理をしない	H 早寝・早起き・朝ご飯で元気に過ごす

上記の観点を「とても大切だ、大切だ」と回答した 小学生 8つの観点についての子供の意識 中学生

ほとんどの観点で、子供の安全に対する意識は高まっていますが、D・Eの低さが課題です。体育科・保健体育科での様々な運動に係る学習においても、けがの防止に係る指導をお願いします。

上記の観点で「いつも行動している、行動している」と回答した 小学生 8つの観点についての子供の行動 中学生

ほとんどの観点で、子供の安全に対する行動は高まっていますが、D・Eは、意識より行動が高くなっています。「運動時の集中や技能の向上が、なぜけがの防止に役立つのか」を理解させる指導をお願いします。

2 本年度の取組について

意識から理解へ 「～だから～は大切です」	行動から実践へ 「～だから～に取り組んでいます」	総論から重点へ 「～から取り組んでいます」
子供自身が、8つの観点について、その重要性を説明できるように、発達段階に応じて指導してください。	子供が、無意識な行動から、理解に基づく意図的な実践へと高まっている場面を見つけ、その取組長りを認める声をかけてください。	8つの観点がなぜ高まったのか、指導の結果として説明できるように、実態に応じて取り組む観点を重点化してみてください。

## 4 学校独自の取組



ブランコの立ち入り禁止区域を示すライン

あゆみの歌♪

あゆみの **あ** あるこう

あゆみの **ゆ** ゆっくり

あゆみの **み** みぎがわを

今日も あゆみを守ろうよ♪

あゆみの歌を覚えてください!  
あゆみをしっかり心にとめて、けがのない学校生活にしましょう。

もうむいいんかい  
総務委員会

安全に関する歌「あゆみ」の歌

## 5 新たな取組について



キャプテン会議の開催



入念な準備運動の実施

## 5 新たな取組について

### (1) 認知度

「キャプテン会議」に取り組んだことで、安全な行動の重要性が理解できたかを調査

### (2) 実践度

「キャプテン会議」に取り組んだことで、実際に部活動中に安全に気をつけて行動したかを調査

学校名	中学校	年(男・女)	部活名( )部
-----	-----	--------	---------

「運動部活動だけがをしないための認知度・実践度調査」【キャプテン会議の開催】

「キャプテン会議の開催」に取り組む前と取り組んだ後(平成28年11月まで)では、運動部活動だけがをしないための考え方や行動が変わりましたか。1、2はア～エから最も当てはまるものを選び、枠の中に○を付けましょう。3は枠の中に書きましょう。

1 【運動部活動だけがをしないための認知度調査】  
「キャプテン会議の開催」に取り組んだことで、運動部活動だけがをしないために、安全に気を付ける重要性が分かりましたか。

取組前より	ア	イ	ウ	エ
	とてもよく分かった	分かった	変わらない	全く分からなかった
○				

2 【運動部活動だけがをしないための実践度調査】  
「キャプテン会議の開催」に取り組んだことで、運動部活動だけがをしないために、実際に活動中に、安全に気をつけて行動しましたが。

取組前より	ア	イ	ウ	エ
	分かったことがとてもよく行動できた	行動できた	変わらない	全く行動できなかった
○				

3 運動部活動中に安全に気をつけて行動するようになったことは、どんなことですか。(書ける人は、いつ、どこで、どんなことをしたか、くわしく書きましょう。)

(例) 部活動の際の場所移動中、周囲に危険なものがないが確認するようになった。

# 「学校の安全」対策委員会

## 1 目標、取組内容



本市は、校内等でのけがの減少を目指した「学校の安全」対策委員会を設置して取組を進めています。

「学校の安全」分野では、市立全小中学校で、次のような取組が行われています。

### 校内パトロールの実施



けがの多い場所の見回りをを行い、けが防止を呼びかけています。

### ポスターの掲示



けがの多い場所にポスターを掲示しています。

### 危険箇所マップづくり



校内でけがが発生した場所にシールを貼り、けがの発生場所を分析しています。

### 「危険」などの表示



大けがが起こりそうな場所に「危険」等の表示を行っています。

### 集会活動での呼びかけ



転倒などけがの原因を説明し、けが防止の呼びかけを行っています。

## 2 校内等でのけがの減少を目指したPDCAサイクル

### Plan

- 「学校の安全」対策委員会の報告を受けた課題の把握
- 学校の実態に合わせた取組内容の決定

### Do

- 各学校での取組内容の実施
- 「取組状況調査」による各学校の対策内容に関する実施状況の把握(6月)
- 「学校の安全」対策委員会の開催(7月)
  - ・ 「取組状況調査」の分析や今後の課題等に関する協議
- 各学校へ「学校の安全」対策委員会の協議内容の報告(8月)

### Action

- 「運動部活動のけが防止対策取組状況調査」による各中学校の対策内容に関する実施状況の把握(1月)
- 「学校の安全」対策委員会の開催(2月)
  - ・ 「運動部活動のけが防止対策取組状況調査」の分析や今後の課題等に関する協議
- 各学校へ「学校の安全」対策委員会の協議内容の報告(2月)

### Check

- 「意識・行動調査」による各学校のけがを防ぐための意識と行動の実態把握(11月)
- 「学校の安全」対策委員会の開催(12月)
  - ・ 「意識・行動調査」の分析や今後の課題等に関する協議

## 3 各調査について

### 取組状況調査

各学校で、どの対策に取り組んでいるかを調査するとともに、各取組ごとの「認知度」と「実践度」の実態を把握する。

調査項目	認知度	実践度
校内パトロールの実施	○	○
ポスターの掲示	○	○
危険箇所マップづくり	○	○
「危険」などの表示	○	○
集会活動での呼びかけ	○	○

### 【校内パトロールの取組状況調査】

(1) 認知度  
「校内パトロール」を通して、安全な行動の仕方が理解できたか。

(2) 実践度  
「校内パトロール」を通して、安全な行動の仕方を理解し、実際に行動できたか。

## 意識・行動調査

各学校における意識と行動の高まりやその差について調査し、実態を把握する。

学校でのけがをふせぐための調査 (小学生～6年生用)

学校名: \_\_\_\_\_ 学年: \_\_\_\_\_ 月: \_\_\_\_\_

※本調査は、けがをふせぐための意識と行動に関する調査です。調査結果は、けがをふせぐための対策に活用させていただきます。

【意識】(けがをふせぐたい、ふせぐたい、ふせぐたい、ふせぐたい、ふせぐたい、ふせぐたい、ふせぐたい、ふせぐたい、ふせぐたい、ふせぐたい)

【行動】(けがをふせぐたい、ふせぐたい、ふせぐたい、ふせぐたい、ふせぐたい、ふせぐたい、ふせぐたい、ふせぐたい、ふせぐたい、ふせぐたい)

(1) 意識  
けがをふせぐためにどのようなことに気をつければよいと思うか。

(2) 行動  
けがをふせぐためにどのような行動をしているか。

## 4 意識・行動調査の結果について

A 周りの安全を確かめる

B 遊びや運動のルールやきまりを守る

C 無理なことをしない

D 遊びや運動中に他のことを考えない

E 遊びや運動が上手になる

F 準備運動や整理運動をする

G 具合の悪いときは無理をしない

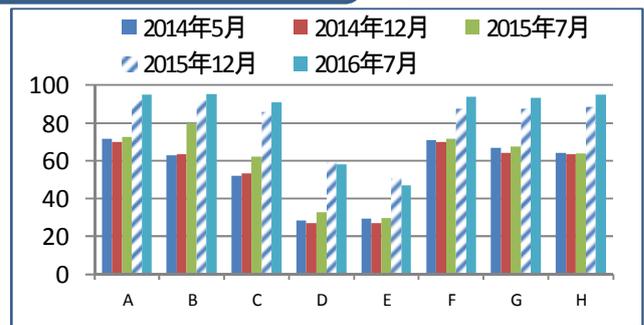
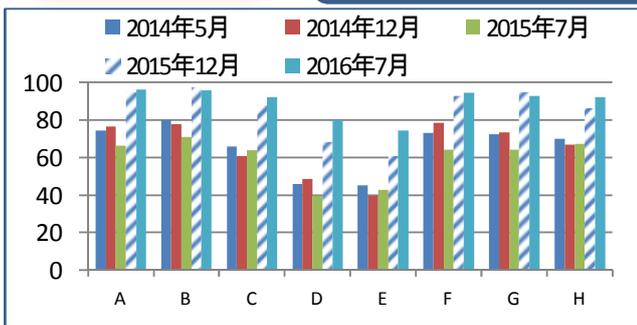
H 早寝・早起き・朝ご飯で元気に過ごす

### 【意識の調査結果】

小学校

全ての項目で、調査を始めた2014年5月に比べて向上している。

中学校

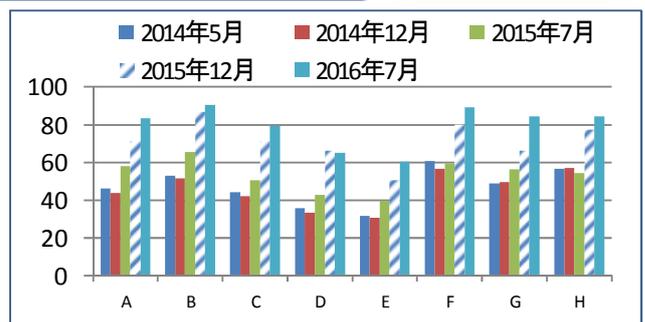
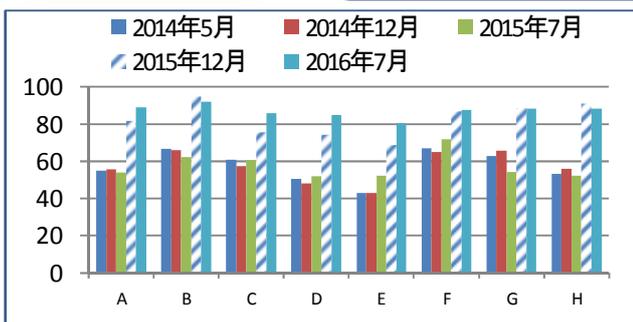


### 【行動の調査結果】

小学校

意識調査と同様、全ての項目で、調査を始めた2014年5月に比べて向上している。

中学校



## 5 新たな取組について



中学校においては、運動部活動中のけがが多いことから、次の2つの取組を進め、けがの防止に向けた認知度と実践度の向上を目指します。

キャプテン会議の開催

運動部活動中のけがを防止するために、けがの原因や今後の取組などについて話し合う「キャプテン会議」を開催します。

入念な準備運動の実施



部位を伸ばすストレッチ運動や柔軟運動などを取り入れた「入念な準備運動」を実施します。